

この度は Seymour Duncan La Super Rica Fuzz をご購入求め頂き誠にありがとうございます。  
この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。  
取扱説明書は必要なときにすぐ見ることができるよう、手元においてください。

La Super Rica という名は「Super Rich」を意味し、このシリコンファズは正にその名にふさわしいサウンドと様々なスタイルに対応する汎用性を備えています。60年代から70年代にかけて人気だったギタリストが使用していたシリコンファズ回路を元に開発を始め、トウルーバイパス回路や電源のオンオフが視認できるLED、ACアダプターを使用できる9V電源を追加、さらに従来のFUZZの問題であるボリュームを改良し、アンプとのレベルを合わせやすくする事により、現代のニーズに合う形を作りだしています。またミドルのパラメトリックイコライザーとローエンドのフリーケンシースイッチを搭載することにより、シングルコイル、ハムバッカーまたはベースにおいてもバンドアンサンブルの中で埋もれることなく存在感のある音を作り出す事が可能です。

LA Super Rica Fuzz は他のペダルと同様に、様々な Duncan Pickup を創りあげたチームによりカリフォルニア・サンタバーバラの自社工場にて製作されています。

### 各部の名称と働き

**1.Volume:** エフェクト・オン時の音量を調節します。

左に回すとエフェクト・オン時の音量が小さくなります、右に回すとエフェクト・オン時の音量が大きくなります。

**2.Fuzz:** 歪みの量を調整します。

右に回すことにより歪みの量が上がり、同時に長いサスティンが得られます。

**3.Mid Level:** ミドルのブースト・カットを行います

このコントロールはミドル・フリケンシー・コントロールと連動して動作し、10dBのブーストまたはカットでミッドレンジの音量を調整する事ができます。周波数は、Mid Frequency のつまみによって選択します。

**4.Mid Frequency:** ミドルの周波数を設定します。

ミドルレベルコントロールの周波数を 548 Hz から 2.2 kHz の間で設定し、左に回しきると 548Hz、右に回しきると 2.2kHz になります。

※Mid Level つまみをブースト状態にしてこのコントロールを調整することをお勧めします。これにより、設定している周波数を聞き取りやすくなります。

**5.Voicing Switch:** ローエンドカットを3種類より設定します。

LEAN-FLAT-FAT の順でローエンドが強くなっていきます。

シングルコイル系のピックアップは FAT や FLAT、ハムバッカーは LEAN を使用することをお勧めします。

**6.Status LED:** La Super Rica が起動しているときに点灯します、バイパスの時は消灯します。

**7.True Bypass Footswitch:** エフェクトの On-Off を切り替えます。

トウルーバイパス回路を採用しており、エフェクト Off の場合回路内を通らず信号を出力します。

**8.Input Jack:** エレキギターやエフェクターからの信号を入力するジャックです。

※ INPUT ジャックは、電源スイッチも兼ねています。

接続プラグを INPUT ジャックに差し込むと電源がオンになり、抜くとオフになります。

エフェクターを使用しないときは、INPUT ジャックに接続しているコードを抜いてください。

**9.Output Jack:** アンプや他のエフェクターに接続する出力ジャックです。

**10.Power Jack:** センターマイナスの 9V のアダプターを接続します。

エフェクター内に電池がある場合こちらの電源供給が優先されます。

※電圧は最大 18V まで対応しています。